

み た ち

みんなで たすけあう ちいきづくり



第2号
令和6年
2月20日

笑顔があふれた ♪ 一人暮らし高齢者の集い

令和5年10月23日(月)、栄田町公民館で、4年ぶりに「一人暮らし高齢者の集い」が開催されました。参加された一人暮らしの方々は40名を数え、最高齢の方は95歳でした。久々に顔を合わせたみなさんは、「元気だったー?」「久しぶりねー!」と声を掛け合っておられ、会場内には笑顔の花が咲きました。

会食をしながら懇親を深め、アトラクションでは婦人会の方々と一緒にストレッチ体操をし、老人会のみなさんの踊りでは手拍子を打ちながら楽しんでおられました。お楽しみのbingoゲームも、大変な盛り上がりで、数字が発表されるたびに歓声が上がりました。最後は、ハーモニカ演奏に合わせて、お世話役の福祉協力員、民生委員・児童委員、役員全員で参加者のみなさんと「赤とんぼ」「青い山脈」など3曲を歌い、素敵なひとときを締めくくりました。

この集いの目的である住み慣れた地域で安全・安心して暮らしていく絆を深めることができたと思います。



参加者の感想

初めての方と同席し、同じ町内に住んでいることがわかつてうれしかったです。

アトラクション 参加の方

久々のステージで緊張しましたが、楽しく踊りました。



ストレッチ体操「365歩のマーチ」
永昌町婦人会



舞踊「青梅ひよっこ踊り」
永昌町老人会五日会



舞踊「なみだ酒」
栄田町豊世栄会



舞踊「長良川演歌」
西栄田町老人会アカシア会

栄田町

永昌町

合計103食をお届け! ふれあい食事サービス



令和5年11月30日(木)、栄田町は4年ぶり、永昌町は初めての「ふれあい食事サービス」を実施しました。

75歳以上の人一人暮らしの方に、婦人会が手作り弁当をこしらえ、担当の民生委員がご自宅にお届けをするサービスです。前もって希望される方を調査し、お昼を目処にお届けをしました。主なメニューは、野菜と鶏肉の煮物、焼き魚、だし巻き卵、サツマイモのてんぷら、酢の物など、消化がよく栄養価の高いものを考えて作られ、彩りよいお弁当でした。婦人会のみなさんは、「いただいた方が笑顔になってくださるよう心を込めて作りました。」と話しておられました。

お弁当を受けられた方にもお話を聞かせていただきました。栄田町の方は、「お弁当をいただいたのは2回目ですが、コロナ禍で3年間のお休みがあり、今年は実施されると聞いて楽しみにしていました。お弁当をいただけてとてもうれしいです。作ってくださった方、届けてくださった方、ありがとうございました。」永昌町の方は、「初めていただいたて感激しています。お手間をかけたと思うますが、これからも続けていたくうれしいです。ありがとうございました。」と話してくださいました。

お弁当です。
召し上がって
ください。

ありがとうございます。
みなさんによろしく
お伝えくださいね。

わざわざどうも！
うれしいです。



学校との連携

校区の明峰中学校、御館山小学校の校長先生に、地域へのご挨拶文をお願いしたところ、快く寄稿してくださいました。



あいさつを通して
明峰中学校 校長 立山敏雄

1学期にこんな話をしました。あいさつは、現在・未来の自分の人生を良きものにするための必要行動であり、人が相手を判断する材料になる視線、表情、態度、声質やトーンなどその全ての要素が含まれているそうです。いいあいさつは好印象を生み、相手とのコミュニケーションを構築し、助け合いの気持ちができます。結果として、その個人は集団の中で認められる存在となり良き立場をつくります。それが広がることで自他への肯定感が高まり、集団の質が向上するのです。

「明峰中生は、よくあいさつ、いいあいさつをしてくれます。」と地域の方からお褒めの言葉をいただきます。これを「いつも素晴らしいあいさつ」と高めて、地域づくりに貢献したいと思います。



地域と共にある学校を目指して
御館山小学校 校長 山口敬博

「子どもたちの挨拶が素敵な学校」それが、御小に赴任して最初に感じた印象でした。そして、その素敵なお挨拶が何に起因するものかはすぐに分かりました。朝登校している子どもたちが、立哨をしていただいている地域の方々と、笑顔で挨拶を交わし合っているのです。話を伺うと、それがもう何年も続いており、挨拶をする子がどんどん増えているとのこと。この毎朝の交流の積み重ねが、御小の子どもたちの素敵な挨拶へと繋がっているのでしょうか。また、「通学合宿」「3世代交流」「地区運動会」「図書ボランティア」をはじめ、様々な場面で地域に支えていただいていることを強く感じています。本当に有り難うございます。

私たち御館山小学校は「地域と共にある学校」を目指し、地域に元気を与え、郷土を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。地域の皆様、今後とも御小の子どもたちを、どうぞ宜しくお願ひいたします。

児童デイサービス「めいほう」

本野方面から北バイパスを車で通ると、明峰中学校手前の右手にひときわ目を引く色鮮やかな壁画が描かれた建物があります。昨年4月、西栄田町に開所した重度心身障害児、医療的ケア児のための児童発達支援放課後等デイサービスの施設「めいほう」(岩永 恵 施設長)です。

西栄田町の白川剛助自治会長が開所式に出席され、大変感銘を受けたとのお話を聞き、私たち広報部員も訪問させていただきました。県央初という施設が、こんなに近くあることを知りませんでした。専門スタッフが常駐して



いるこのような施設ができるのを、待ち望んでいた保護者の方も多数いらしたことでしょう。私たちが伺ったときは、3人のお子さんそれぞれに3人ずつスタッフが付き、歌を歌ったり、リズムに合わせて手を動かしたりしている楽しそうな表情に心が和みました。

今後は地域の子どもたちとの交流も、していくといいなあと思いつつ、施設を後にしました。



通所しているお子さんの作品

御小校区通学合宿を支援



スーパーで食材の買い出し

令和5年11月19日(日)から23日(木・祝)までの4泊5日、御館山小学校の4～6年生の希望者26名が、永昌町公民館に泊まって学校に通う通学合宿が行われました。これは、御館山小学校区健全育成会(古賀龍也会長)が主催したもので、今年で5回目の実施になります。

しかし、コロナ禍で3年間実施できなかつたため、再開するにあたって、子どもたちの生活体験の場を一層充実させようと、以前の2泊3日の日程が4泊5日に増やされました。それに伴い、子どもたちの活動を支援するスタッフの負担も増えるため、スタッフ人数を大幅に増やすこと

で、一人一人の負担を減らす方策がとられました。そこで、本地区社協としましても、各自治会、婦人会、民生委員・児童委員、少年補導員、食生活改善推進員、更生保護女性会、御館山小学校、PTA等の各団体と協力し、物心両面の支援を行いました。

参加した26名の子どもたちは、4泊5日の間、親元を離れ、テレビやゲームのない公民館で、元気いっぱいに友達と協力し合い、鎮西学院大学、純心大学のボランティアのお兄さん、お姉さん、多くの地域の支援スタッフの応援を受けながら、買い物、調理、片付け、掃除、布団の上げ下ろしなど、ふだんはあまりしていな



地域の方に教わりながら調理



起床後の布団たたみ

い生活体験に取り組みました。その中で子どもたちが特に喜んだのが、地域の方のお宅を訪問してお風呂を借りる「もらい湯」でした。もらい湯先は1軒につき1回の提供で、33軒のご協力が得られました。中には、「うちは毎日来てもらつてよかったです」と言ってくださる協力者もおられました。

通学合宿のねらいである「子どもたちの生活力、人間関係力の向上」とともに、地域の絆も深まり、「子どもを核とした地域コミュニティの再生」も十分達成できた取り組みだったと実感しています。

寄付御礼

御館山校区社会福祉協議会に香典返しとして寄付をいただきました。ありがとうございました。

有効に活用させていただきます。

* 栄田町 松本弥生様

(亡夫 正則様)

* 永昌町 彌永信子様

(亡夫 清様)

編集後記

新年早々、能登半島、羽田空港で胸が痛む災害が重なりました。亡くなられた方々、被災された方々に心からお悔やみとお見舞いの思いを馳せながら、「みたち第2号」を編集しました。私たちにとって、当たり前の暮らしにどんなにありがたいことか、感謝の気持ちを新たにしています。今回は、一人暮らし高齢者の集い、ふれあい食事サービス、通学合宿を中心に、学校との連携、施設の紹介などを取り上げました。笑顔、絆、心をつなぐあいさつなど地域の温もりをお届けできたらと思います。皆様方のご感想はいかがでしょうか。

被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

連絡先：事務局 永昌町公民館 TEL 26-3803